日高市子ども議会

日高市のこれからのために、何ができるのかみんなで考えました

７月24日、小学６年生12人が、子ども議員となり子ども議会を開催しました。子ども議長の議事進行のもとに、市政に対する一般質問を行い、一人一人、自分の考えを立派に主張していました。最初は緊張していた子ども議員も、市長・教育長が真摯（しんし）に答えたことで自信を深めたようです。この貴重な経験を、これからの学校生活に生かしたいと話していました。

問い合わせ　議会事務局議会担当

１番　野崎晴斗さん（高萩小学校）

Q　公園が不足している状況を解決するため、空き家を解体し、公園を造るというのはどうか。

A　空き家の解体後に公園などとして使用することができるようになる方法を地域の皆さんと一緒に考えていきたいと思います。

２番　大野真生さん（高萩小学校）

Q　障がい者が安心安全に暮らせるようにするために、音声案内板の設置など、不安をなくす工夫をすることはどうか。

A　市では、一人一人が、障がいのある人をどのように助けたらよいかを考えるまちを作ることで、みんなが安心安全に暮らせるようにしていきたいと思います。

３番　堀口和葉さん（高麗小学校）

Q　よりきれいで楽しい巾着田にするために、巾着田にいる生き物や植物を紹介する施設を作るのはどうか。

A　大変有効であると考えますが、さまざまな課題があるため、今ある施設を工夫し、巾着田の生き物や植物を紹介していきたいと思います。

４番　比留間莉乃さん（高麗小学校）

Q　高齢者の皆さんが元気に過ごすために、高齢者の皆さんと子ども達がいつでも触れ合える場所を作るのはどうか。

A　そのような場を作ることは、高齢者の皆さんが生きがいを持って生活したり、子ども達の優しい心を育むことができるので、このような活動を少しずつでも広げていきたいと考えます。

５番　千葉葵さん（高麗川小学校）

Q　人が集まり活気のある市にするために、高麗川駅周辺に誰でも利用できる施設や喫茶店などを設置してみるのはどうか。

A　地域の特徴を生かし、活気のある市になるように市民や企業の皆さんとともに考えていきたいと思います。

６番　加藤愛莉香さん（高麗川小学校）

Q　高齢者の皆さんも安心して市内を移動できるようにするため、小型のマイクロバスを使った循環バスを運行するのはどうか。

A　市では現在、交通の研究をしている大学の先生や交通事業者、地域の人たちを交えた地域公共交通協議会で、交通手段について考えています。

７番　国本拓未さん（高根小中学校）

Q　通学ボランティアの数が増えれば、子どもが元気に安心して学校に行けるので、通学ボランティアに興味を持ってもらえるような「フェス」を開催してみてはどうか。

A　若い人たちが興味を持ち、通学ボランティアをしてくれる可能性につながるため、地域の人たちと相談し、効果的な方法を考えていきたいと思います。

８番　関悠馬さん（高根小中学校）

Q　日高市の貴重な自然や動植物を次世代に残すため、外来生物の駆除・防除を進めていくことはどうか。

A　在来生物の保護は、生態系のバランスを保つために大変重要なので、保全活動を行うことが大切だと考えています。

９番　小林歩実さん（武蔵台小中学校）

Q　今まで大切に使われてきた中学校を、児童館のように活用することはどうか。

A　旧武蔵台中学校については、市民の皆さんのアンケートの結果などから、民間事業者等による活用を目指していくことになりました。これから活用の提案を募集していきますが、周辺地域や市全体のまちづくりを視野に入れた提案をいただきたいと思います。

10番　佐藤理乃さん（武蔵台小中学校）

Q　日高市にあるすてきな場所や物を、たくさんの人に知ってもらうために、写真やミニチュアの展示会を開催するのはどうか。

A　市のすてきな場所などを、ホームページの「ひだか歴史名勝ナビ」や、高麗郷民俗資料館で「ひだか歴史名勝展」を開催して紹介しています。たくさんの人に市を知ってもらえるように取り組んでいきたいと考えています。

11番　北原ひかるさん（高萩北小学校）

Q　託児所や学童保育などで、手紙を書いたりするなど、親と子の関わりが増えるような取り組みを進めることはどうか。

A　親子の関わりは、子ども達の健やかな成長に欠かせない大切なことだと思います。子どもたちが今日の出来事や楽しかったことを手紙に書いて家族に送る機会を増やしていきたいと思います。

12番　杉木かれんさん（高萩北小学校）

Q　市が災害に強く、安心安全に暮らせる市になるために、防災訓練を地区ごとに開催するなど、市民が参加しやすい環境づくりを進めるのはどうか。

A　自治会ごとの防災訓練はとても良い方法と考えます。一方、大規模な防災訓練も防災意識の向上には大きな役割を果たしますので、今年開催される九都県市合同防災訓練を参考に、多くの皆さんが参加できる方法を考えていきます。